

4月28日(月)

## 神様の目的のために生まれた

# 今日の力

\*\*\*\*\*

2025年4月28日～5月4日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 ルカの福音書 1:8～17

ヨハネに至るまで、すべての預言者たちと律法とが預言をしたのです。あなたがたが進んで受け入れるなら、実はこの人こそ、きたるべきエリヤなのです。

マタイ 11:13～14

お知り合いの中に天才と言われているような子どもはいますか。生まれつき頭が良かったり、音楽の才に恵まれているようなお子さんです。バプテスマのヨハネは、エリヤのような預言者になるという、特別な賜物を持って生まれました。ヨハネの独特的召命には、ユダヤの荒野で教えを宣べ、いなごと野蜜を食べ物とするというものまで含まれていました。

でも、ヨハネが真に特別だったのは、彼の使命ゆえにです。彼は救い主イエス様のために道を整えました。私たちも皆、イエス様の十字架の死と復活という福音を宣べ伝えるために召されています。人はイエス様に出会い、かしこみつつ引き寄せられ、悔い改め、バプテスマされ、聖霊の賜物をいただくのです。

誰かあなたがキリストに出会うために道を整えてくれた人がいますか。私たちはキリストの光を遮ったり邪魔したりする人たちや経験にはよく気付きます。でも、神様がイエス様に通ずる道を備えてくだされば、私たちの心は変えられます。家族内にあってもです。

私は特別じゃないからと思われるかもしれません、あなたも神様の目的のために生まれたのです。愛と真理の光を、今日、あなたによって輝かせましょう。

讃美歌 234A むかし主イエスのまきたまいし

祈り 主よ、私の人生における、あなたのみ救いを信じます。自分の過ちにとらわれて、あなたの光に照らして他の人を愛することができないことを、お赦しください。イエス様のお名前によって。アーメン。



フロリダ州 デスティン／サラ・クラーク

4月29日(火)

## りっぱな信仰

聖書朗読 ルカの福音書 7:1~10

これを聞いて、イエスは驚かれ、ついて来ていた群衆のほうに向いて言われた。  
「あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見た  
ことがありません。」

ルカ 7:9

イエス様がカペナウムの町に入られると、ローマの百人隊長が送ったユダヤ人の長老たちがイエス様のみもとに近づいて来ました。この百人隊長は権力者であり、影響力を持っていました。ユダヤの指導者たちは、彼がカペナウムに会堂を建ててくれたという理由で、百人隊長をもてはやしていました。百人隊長は“ミシユナ”（訳注：ユダヤ教の聖典タルムードの最初の部分）によると、異邦人の住居は汚れていると教えられていることを知っていました。それで、彼はイエス様に家に上ってくださるようにお願いせずに、イエス様が家の近くまでいらした時に友人たちを使いに出し、イエス様と長老たちに会って、死にかけているしもべを助けてくださるようにと熱心にお願いさせたのです。百人隊長はこう伝えさせました。『主よ。…あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。…ただおことばをいただかせてください。そうすれば、私のしもべは必ずいやされます。』

イエス様は百人隊長の信仰に驚かれました。イエス様はつい先頃、神の国の真理と、御国に対する信仰について教えられたばかりでした。そして今、お話になつた通りの信仰を実際に見せてくれた人がいました。イエス様は百人隊長の信仰を称えて、『あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。』とおっしゃいました。百人隊長の信仰によって、しもべは癒されました。

讃美歌 268 まごころもて 仰ぎまつらん

祈り お父様、百人隊長の素晴らしい信仰の例をありがとうございます。私も自分の人生において、この例に倣い、日々立ち向かう試練に打ち勝てるようあなたを見上げてみ力をいただけますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ミシシッピー州 オリーブ・ランチ／エディー C・ルイス

4月30日(水)

赦しを過小評価する者は、その赦しに十分応えることはできない  
聖書朗読 ルカの福音書 7:36~50

あなたがたに言うが、この人が、義と認められて家に帰りました。パリサイ人では  
ありません。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者  
は高くされるからです。」

ルカ 18:14

あるパリサイ人が、一緒に食事をしたい、とイエス様を招きました。大工から転身した若き救い主イエス様に心から関心を持っていたのでしょうか。イエス様は、パリサイ人シモンに神の義について教えました。イエス様との食事は結構なものでしたが、イエス様その後、食事以上に目からうろこが落ちるようなお話をされました。それは赦された二人の者のお話でした。

その晩、食事の席についたのは、シモン以外の人もいました。その中の一人は罪深い女性でした。彼女は、罪の赦しを必死に求めていました。イエス様が群衆に語られたことばは彼女の心に響きました。罪深い女性が、正しいとされている

人の家に入るのたやすは容易いことではなかったでしょう。でも、そう言うところにこそイエス様はおられるのです。

シモンと罪深い女性がイエス様とともにいました。シモンは堂々とイエス様と向かい合っていましたが、罪深い女性は目を合わせることもできず足元に伏していました。そこでイエス様はたとえ話をされました。ちょうどシモンの居間にいる人たちのように、ふたりの者が金を借りていました。そこでは多く借りていた者も、少なく借りていた者も、共に赦されました。イエス様は、どちらがよけいに感謝の念を表わすだろうかと尋ねられました。シモンは、よけいに赦してもらったほうだろうと認めました。するとイエス様は神の義についての驚くべき真理を語られました。『少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。』つまり、自分があまり赦されていないと思い込んでいる人は、それに応答しないので、他者を少ししか愛せなくなるわけです。この家でイエス様に多くの愛を示した女性は、多くの罪を赦されて、驚きと喜びで家に帰りました。

讃美歌 280 わがみののぞみは

祈り お父様、赦しをもとめる心をお与えください。そして、あなたがくださる恵みをいただけますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック／デビッド・ラングフォード

5月1日(木)

## 寛容を学ぶ

聖書朗読 ルカの福音書 8:22~25

それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔軟、寛容を身に着けなさい。コロサイ 3:12

イエス様は弟子たちに対して、そして私に対しても寛容であられます。ガリラヤ湖上の舟の中で突風が吹きおろして来て水をかぶり危険になった時、弟子たちは恐れました。ぐっすり眠っておられるイエス様を起こし、イエス様は風と荒波をかりつけ収められました。イエス様は弟子たちに『「あなたがたの信仰はどこにあるのです」と言われました。弟子たちはイエス様の御力に驚き、『いったいこの方はどういう方なのだろう。』と互いに言いました。どれほどイエス様は弟子たちに対して寛容であられたのでしょうか。そして今日、私に対しても同じように寛容であられます。

自分が他の人に対していかに寛容さが足りないかを知ると、イエス様のことを思います。誰かが生意気にも私に反対したり、失礼だったりしたら、私は寛容でいられるでしょうか。こうしてもらいたいと思っていることをしてくれなかつたり、私の信仰と相容れなかつたりしたらどうでしょうか。寛容になれるでしょうか。イエス様とともに舟に乗ることは寛容を学ぶことでした。イエス様から目を離さずにいましょう。そうすれば、あなたの信仰は成長します。イエス様が舟に同乗してくださっていれば、どんな嵐の中でも旅することができます。

讃美歌 295 やすしや 罪の世にも

祈り イエス様、神様、私を愛してくださってありがとうございます。聖靈なる神様、私を愛し、人生の嵐の中で共にいてくださってありがとうございます。他の人に対して寛容でありますように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ネダーランド／ジーン・ガン

5月2日(金)

## 神の前に富む者

聖書朗読 ルカの福音書 12:13~21

そして言った。『こうしよう。あの倉を取りこわして、もっと大きいのを建て、穀物や財産はみなそこにしまっておこう。ルカ 12:18

小さなリスが頬袋パンパンに頬張って、はみ出しているどんぐりを隠すのにちょうど良い場所を探していました。見つけると、すごい勢いで穴を掘り始めました。掘り終わると、頬袋のお宝を入れ、土で覆いました。ふと振り返って、私がトラックに座っているのを見つけました。すると、私がいる場所の近くに生えている大木にちょこちょこっと登って、トラックに脚をかけ、けたたましく鳴いて私を追っ払おうとし始めました。私は運転席の窓を下げ、「君のどんぐりを取ったりしないから、心配しなくてもいいよ。他のリスに隠し場所を教えたりしないからね。」と言いました。

私たちは、神様が与えてくださる物質的な物やお金の良き管理者たれと教えられています。でも、物や貯金に頼ったりするべきではありません。私たちはキリストに信仰と信頼を置く者なのです。

株式市場が急に下落して世界経済が破綻したとしても、神様は変わらずご自分の民を守ってくださいます。ですから、今日、世の中をせわしなく走り回っている時、自分のためにたくわえたものに頼るのでなく、その蓄え自体を備えてくださった神様に信頼するようにしましょう。

聖歌 273 いのちのいづみに

祈り 主よ、あなたにこそ信頼を置くことができますように。あなたがいつも私たちをゆたかに養ってくださることを、今日、覚えられますように。天に宝をたくわえることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



オレゴン州 ビーバートン／マーク・ヤング

5月3日(土)

## 招かれざる客\*

\*訳注: 1967年のアメリカ映画

聖書朗読 ルカの福音書 14:15~24

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

黙示録 3:20

大好きな有名人とのお食事に招待されたらなんて思っただけでも夢みたいないことかもしれません。その有名人があなたの家に来て戸をたたき、食事に呼んでもくれたらと夢見るなんていうのは、とんでもないことでしょう。このあり得ない出来事にショッキングで意外な進展を付け加えましょう。あなたは以前、その有名人の正式な招待をお断りしていて、わざわざあなたの家に来てくれたのだと想像してみてください。

そんなことになるなんて信じられないと首を振っていることでしょう。ごもっともです。

神様が、御許に来るようとの素晴らしい招きをもって、人の心の戸をたたき続けてくださっていることは、もっと驚くべきことではないですか。いつの日か、主がおいでになり、永遠の住まいに迎えてくださいます。そこには主が私たちのために用意してくださった場所があります。でもこの地上においては、神様とともにパンを裂き、私たちの重荷を主のもとに持って行きましょう。そして、私たちの知らないことを素直にイエス様にお尋ねして、主の忍耐強い教えに耳を傾けるようにと招いて下さっています。

讃美歌 517 われに来よと 主は今

祈り お父様、私たちを喜んで迎えようと根気よく招いてくださってありがとうございます。私たちを育て強くしてくださるあなたの愛を感謝します。忙し過ぎると言ってあなたの招待を断ったり、心の戸をたたいておられるあなたに答えなかつたりすることがありませんように。イエス様のお名前によつて。アーメン。

コロラド州 モニュメント／ウィリアム E・ヤング

5月4日(日)

## 天が開けるのを見るでしょう

聖書朗読 ヨハネの福音書 1:43~51

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえられたのなら、上にあるもの求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。  
コロサイ 3:1

イエス様がキリストだというピリポの言葉に対して、ナタナエルは「ナザレから何の良いものがでるだろう。」と返しました。反論するかわりに、ピリポはただ「来て、そして、見なさい。」と言いました。「イエス様のところに行って、注意深く見てみなさい。」というのです。神様のご栄光に包まれたイエス様を見れば、私たちは磁石にくっつく鉄くずのように引き寄せられます。イエス様はナタナエルがご自分のほうに来るのを見て、『これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りがない。』と言われました。(ヨハネ 1:47) イエス様はナタナエルの外見だけではなく、彼のすべてをご覧になりました。同じように、イエス様は私たちを召される前に、私たちのすべてをご存じです。私たちの短所も長所もご覧になり、これからどのように成長するかということもご存じです。弟子たちのように、私たちもイエス様にお従いするうちに、不信仰な者には見えない靈的真実を見ることになります。

今日の聖句は、『来て、そして、見なさい。』という招きを信奉するようにと教えています。イエス様は、私たちの欠点・可能性・将来を含めて、私たちを丸ごとご存じです。イエス様を信じ、お従いし、靈的真理の奥義を見させていただく準備はできていますか。信仰によって一步前に踏み出し、イエス様に私たちを変えていただきましょう。私たちが本来そのように人生を送ることができるはずだとイエス様がご存じの人生へと導いていただきましょう。今日、もう一步踏み出して、ピリポがしたように、他の人もイエス様のご栄光に遭うことができるよう、イエス様を見て、と他の人を招きましょう。

讃美歌 II Ⅰ こころを高くあげよう

祈り 全能なる神様、私たちを愛し、私たちを地から天へと導くためにイエス様を送ってくださった、あなたを愛します。永遠に感謝します。キリストの尊いお名前によって、ほめたたえます。アーメン。

オレゴン州 グレシャム／リチャード N・アディ